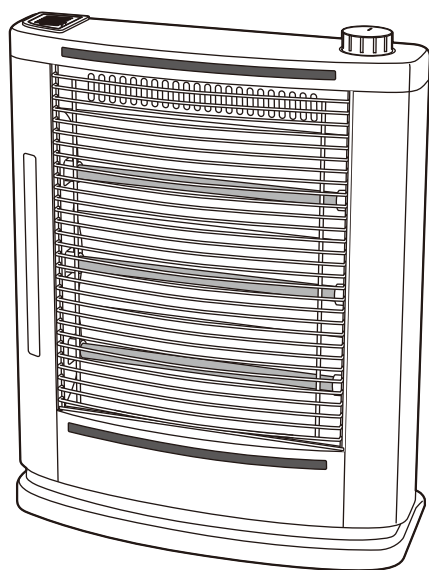


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

障害物センサー搭載 加湿機能付き 遠赤外線電気ストーブ DSE-SKC102



もくじ

■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5~6
■ 設置について	6
■ 知っておいていただきたいこと	6
■ 使いかた	
● 電源プラグをコンセントに差し込む	7
● 運転する(ヒーター運転)	7
● 運転する(ヒーター+スチーム運転)	8
● 運転する(障害物センサーについて)	9
● 使用後は	10
● 安全装置について	10
■ お手入れと保管	11~12
■ 仕様	13
■ 故障かな?と思ったら	13~14
■ 点検のお願い	14
■ アフターサービスについて	14
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社電気ストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み必ず守ってください。

※ここに示した項目は製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



①記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



②記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは根元まで確実に差し込む
●発熱・感電・火災の原因になります。

指示に従う



定期的に電源プラグのほこりをふき取る

- 電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎電源プラグのほこりは乾いたふきんでふき取る。

指示に従う



破損、故障、異臭、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※故障・異常例
14ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照し、異常があるときは直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

指示に従う



長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

- 感電・漏電火災の原因になります。

プラグを抜く



交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

指示に従う

- 交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線などで使用すると感電やコンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは使用しない

禁止

- ショート・感電・火災の原因になります。



電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

禁止

- ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎結束バンドを必ずはずし、電源コードを必ずのばして使用する。



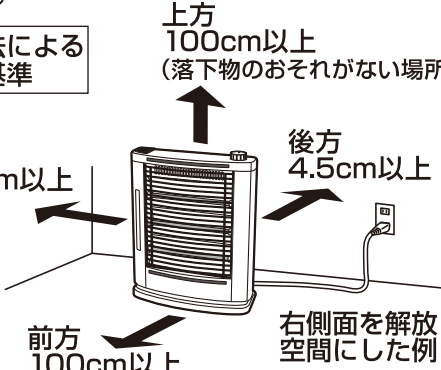
電源コードの上に重い物やベースをのせたり、挟み込まない

禁止

- ショート・感電・火災の原因になります。

警告

■ 設置について





<p>! 壁や家具から離して設置する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 ◎下記の距離を離して設置する。 <p>指示に従う</p> <div data-bbox="112 409 279 479" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>消防法による 設置基準</p> </div>  <p>上方 100cm以上 (落下物のおそれがない場所)</p> <p>側方 30cm以上</p> <p>後方 4.5cm以上</p> <p>前方 100cm以上</p> <p>右側面を解放 空間にした例</p> <p>※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で 囲まれていない開放空間にしてください。</p>	<p>⊘ 周囲が囲まれた場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やけど・火災の原因になります。 <p>禁止</p>
<p>⊘ 屋外に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ショート・感電・火災の原因になります。 <p>禁止</p>	<p>⊘ カーテン、布団、洗濯物、新聞紙などの燃えやすい物、熱に弱い物が周辺にある場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。
<p>⊘ 電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くに設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気製品や精密機器（パソコンなど）が、スチームによって湿気をあびたり、転倒して水がこぼれると、ショート・感電・火災の原因になります。 	<p>⊘ 水や蒸気が本体に掛かる場所、水にぬれた場所、湿気が多い場所に設置しない</p> <p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ショート・感電・火災の原因になります。
	<p>⊘ 不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●転倒して、やけど・火災の原因になります。 ◎安定した水平な場所に設置する。
	<p>⊘ 本体の近くにスプレー缶（ヘアスプレーや殺虫剤など）を置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●爆発・火災の原因になります。
	<p>⊘ 可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●爆発・火災の原因になります。

■ 使用について







<p>⊘ 分解、修理、改造をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やけど・感電・火災の原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店に依頼してください。 <p>分解禁止</p>	<p>⊘ 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない</p> <p>乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けが・やけどの原因になります。
<p>⊘ 開口部やすき間に針金など金属物や異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ショート・感電・火災の原因になります。 <p>禁止</p>	<p>⊘ 乾燥など他の用途に使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 <p>禁止</p>
<p>⊘ 本体に布団や洗濯物などをかぶせて使用しない</p> <p>本体背面の通気穴をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 <p>禁止</p>	<p>⊘ ガードをはずしたまま使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やけど・火災の原因になります。 <p>禁止</p>
<p>⊘ 就寝中は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 <p>禁止</p>	<p>⊘ 長時間同じ場所を暖めない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●低温やけどの原因になります。 ◎皮膚の弱い方は特に注意する。 <p>禁止</p>

警告

■ 使用について つづき


 <p>接触禁止</p>	<p>使用中や使用後しばらくは本体、ガード、反射板、スチーム吹出口に手や顔を近づけたり、触れない</p> <ul style="list-style-type: none">● やけどの原因になります。◎ 特に乳幼児には触らせないように注意する。	 <p>指示に従う</p>	<p>持ち運ぶときは必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">● やけど・ショート・感電の原因になります。
 <p>禁止</p>	<p>スチーム吹出口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。	 <p>禁止</p>	<p>水位表示の「満水」以上給水しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 排水口から水が漏れたり、スチーム吹出口から熱湯が飛び散るなどして、やけどの原因になります。

■ お手入れ・保管について



 <p>プラグを抜く</p>	<p>お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● やけど・ショート・感電の原因になります。	 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電の原因になります。
 <p>指示に従う</p>	<p>排水やお手入れは十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">● やけどの原因になります。	 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。
 <p>禁止</p>	<p>水タンクのお手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。	 <p>指示に従う</p>	<p>包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する</p> <ul style="list-style-type: none">● 誤って顔にかぶったり巻きついたりして、窒息する原因になります。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて

 <p>禁止</p>	<p>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。◎ 必ず電源プラグを持って引き抜く。	 <p>禁止</p>	<p>電源コードを持って本体を引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none">● 設置場所が傷ついたり、ショート・感電・火災の原因になります。
---	---	---	--

■ 設置について

 <p>禁止</p>	<p>厨房や工場など油、油煙、金属粉が発生する場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 変質・変形・感電・火災の原因になります。	 <p>禁止</p>	<p>火気や熱源(コンロや他の暖房器具など)の近くや上に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 変形・火災の原因になります。
---	--	---	--

⚠ 注意

■ 設置について つづき



直射日光があたる場所に設置しない

- 直射日光があたる場所に設置すると、障害物センサーが誤感知したり、変質・故障の原因になります。

禁止



ほこりの多い場所に設置しない

- 感電・火災の原因になります。

禁止

■ 使用について



業務用には使用しない

- 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

禁止



犬や猫などがいる部屋で使用するときには、十分注意する

指示に従う

- 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。
- ◎ 犬や猫などの暖房に使用しない。



落としたり強い衝撃を与えない

- 破損・故障・けがの原因になります。
- ※ 強い衝撃を与えると障害物センサーが故障する原因になりますので注意してください。

禁止



水タンクに水が入っていない状態で加湿機能(スチーム運転)を使用しない

禁止

- 故障・火災の原因になります。



水タンクにお湯(40℃以上)、氷水、汚れた水、化学薬品、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止

- 健康を害したり、破損・故障の原因になります。
- ◎ 必ず水道水を使用する。



はじめて使用するときには十分換気をする

指示に従う

- はじめて使用するときには、においや煙が出るがありますが、故障や異常ではありません。
- ※ 使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは十分換気をおこなってください。



持ち運ぶときは取っ手を持ってベース底部を支える

指示に従う

- 落下すると、破損・故障・けがの原因になります。



加湿機能(スチーム運転)を室内の加湿用途以外に使用しない

禁止

- 故障・感電・火災の原因になります。



水タンクの水は毎日新しく入れ替える

指示に従う

- カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。



使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておく

指示に従う

- カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

■ お手入れ・保管について



本体に腰かけたり、重い物をのせない

禁止

- 変形・破損・故障の原因になります。



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

禁止

- 変色・変質・破損の原因になります。



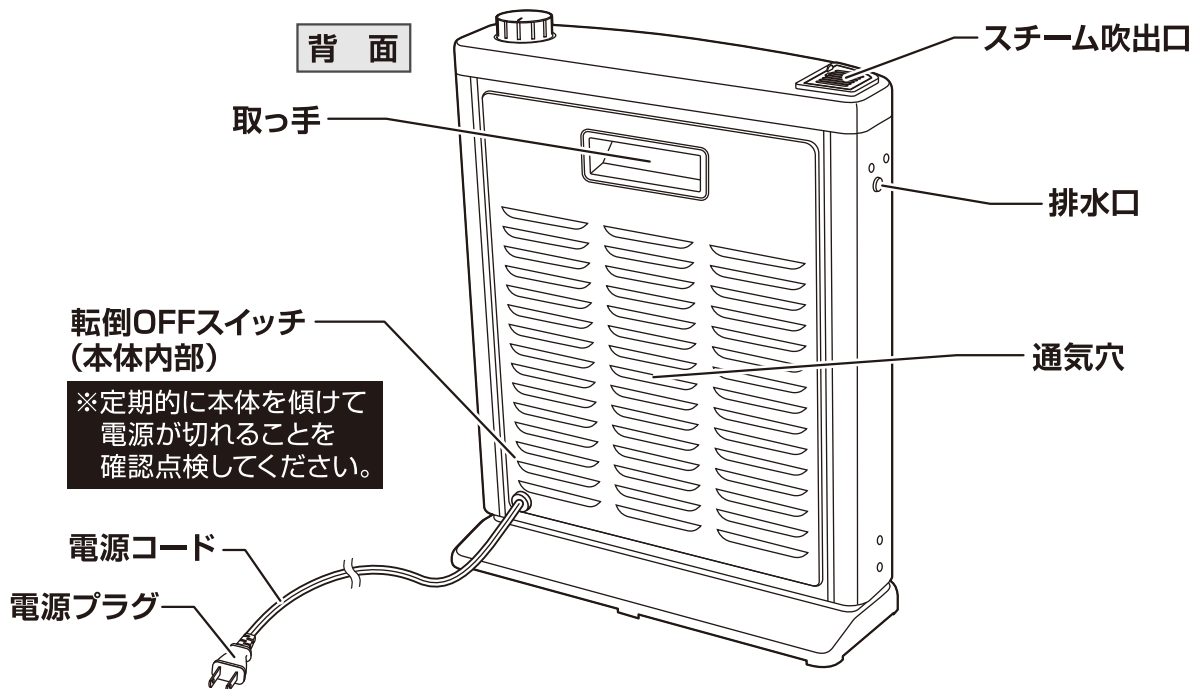
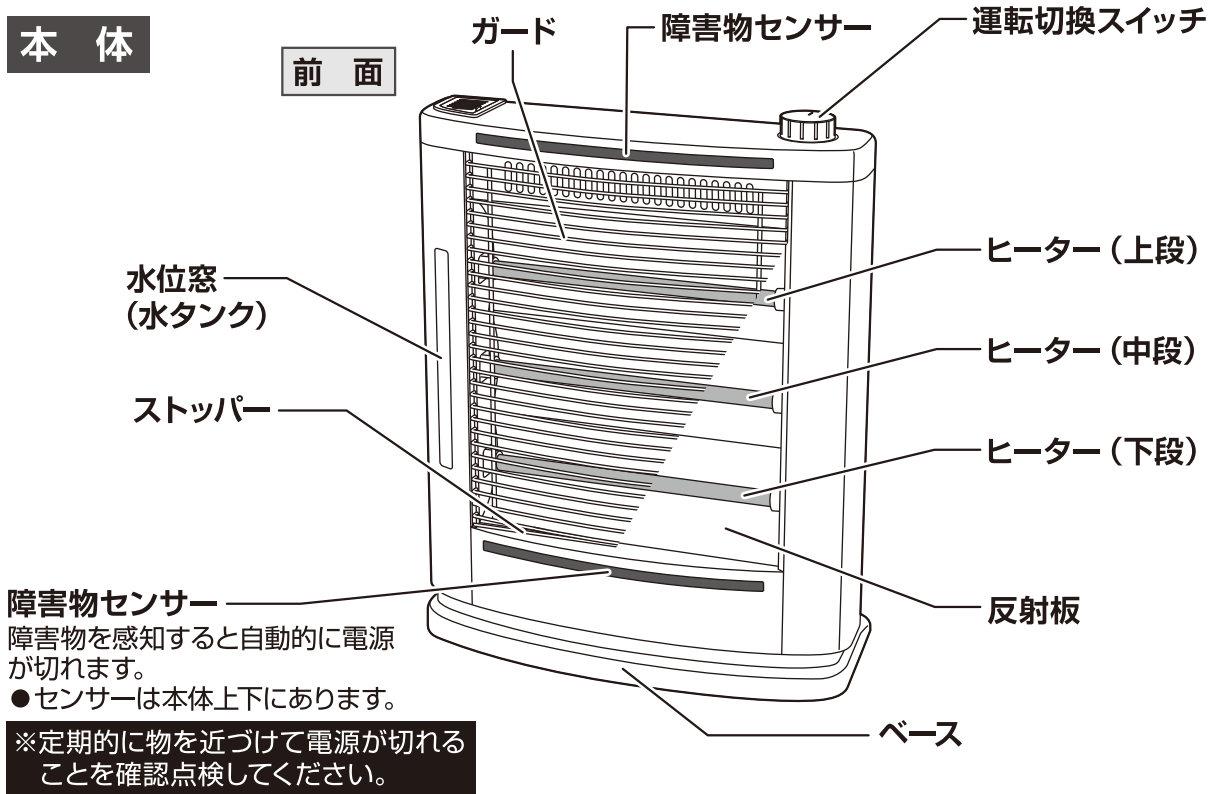
お手入れにはシンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

禁止

- 変色・変質・破損の原因になります。
- ◎ お手入れは11～12ページの「お手入れと保管」を参照する。

各部の名称

本体



- 本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

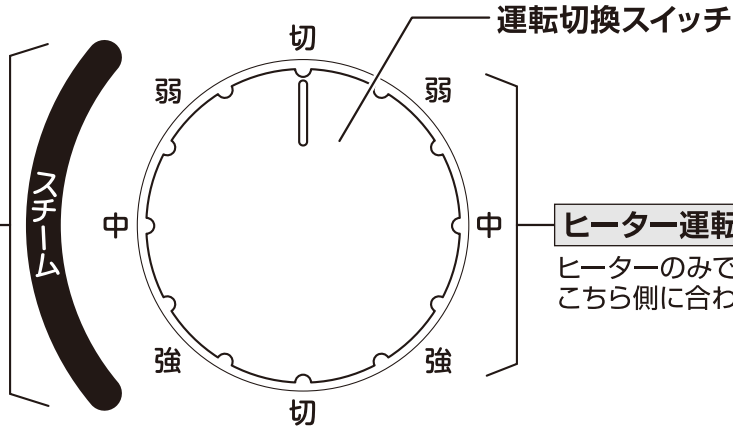
■**お知らせ** 加湿機能検査のために使用した水が、製品に付着している場合がありますが、品質やご使用上、影響はありません。気になる場合は、ゆすいだり、ふき取ってください。

各部の名称

操作部

**ヒーター
+
スチーム運転側**

ヒーターとスチームで
運転するときは
こちら側に合わせます。



ヒーター運転側

ヒーターのみで運転するときは
こちら側に合わせます。

設置について

下記の距離を離して設置します。

警告

壁や家具から離して設置する
●火災の原因になります。

指示に従う

消防法による設置基準

↑
上方
100cm以上
(落下物のおそれがない場所)

↖ 側方
30cm以上

↘ 前方
100cm以上

↗ 後方
4.5cm以上

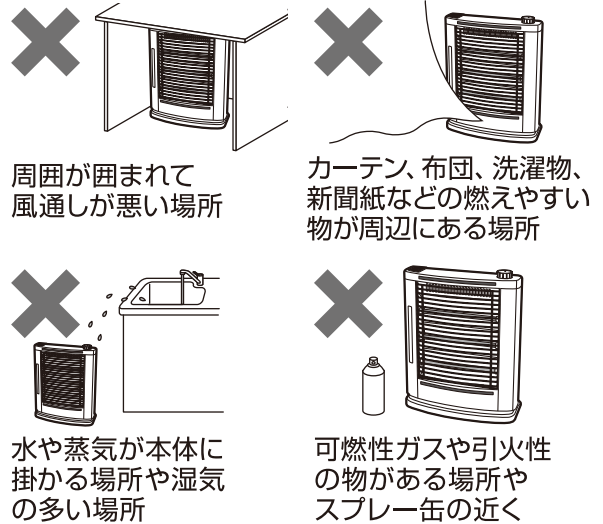
↘ 右側面を解放空間にした例

※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。

不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない
●転倒して、やけど・火災の原因になります。

禁止 ○安定した水平な場所に設置する。

こんな場所には設置しない



知っておいていただきたいこと

においや煙について

- はじめて使用するときには、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。
※においや煙は使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは換気扇を回したり、窓を開けるなどして十分換気をおこなってください。

運転時の音について

- 運転開始からしばらくの間は、カンカンと音がすることがありますが、ヒーターの熱による金属の膨張音で、故障や異常ではありません。

電源コードについて

- 使用中電源コードが多少暖かくなることがありますが、支障ありません。

使いかた

電源プラグをコンセントに差し込む

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認し、電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

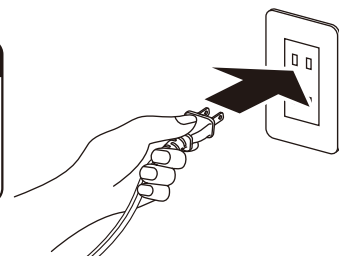
⚠ 警告



交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

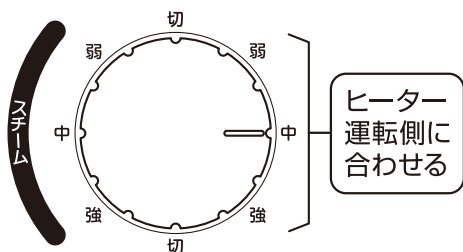
● 交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線などで使用すると感電やコンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。

◎ 結束バンドを必ずはずし、電源コードを必ずのばして使用する。



運転する（ヒーター運転）

ヒーター運転するときは



- 運転切換スイッチをヒーター運転側の「弱」、「中」、「強」いずれかに合わせるとヒーターが点灯します。

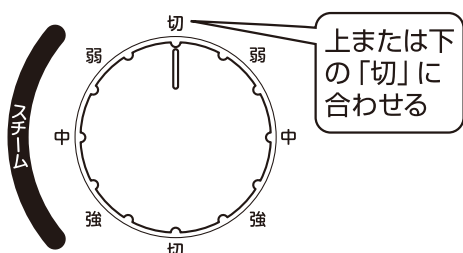
絶対に就寝中は使用しない。火災の原因になります。

運転切換スイッチ	運転状態
切	すべて消灯（電源切）
ヒーター弱	中段 点灯（330W）
ヒーター中	上段・下段 点灯（660W）
ヒーター強	上段・中段・下段 点灯（990W）

注意

※ヒーターのみで運転するとき（スチーム運転しないとき）は、安全のため運転切換スイッチを必ずヒーター運転側に合わせてください。
故障・火災の原因になります。

電源を切る（運転を停止する）ときは



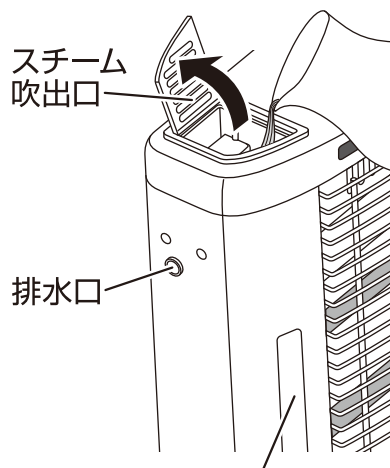
- 運転切換スイッチを上または下の「切」に合わせます。
- ヒーターが全て消灯して電源が切れます。

使いかた

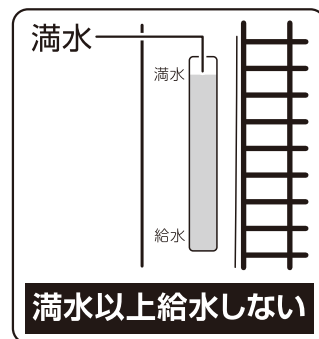
運転する（ヒーター＋スチーム運転）

水タンクに給水する

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認します。
- 注ぎ口のある容器に水を入れスチーム吹出口を開けて給水します。
- 給水後にスチーム吹出口を閉めます。



水位窓（水タンク）

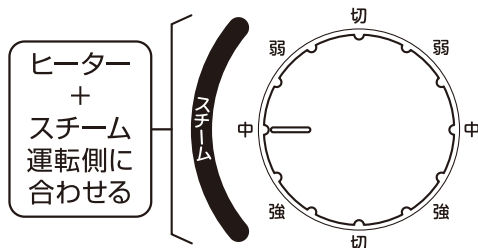


注意

- ※ 給水するときは少しずつ水を注いでください。一度にたくさんの水を注ぐと表面張力により、水が注ぎにくいことがあります。水が注ぎにくいときは本体を軽くゆすると、注ぎやすくなります。
- ※ 運転中に給水するときは運転切換スイッチを「切」にし、本体が十分冷めてからおこなってください。運転しながら給水するとやけどの原因になります。
- ※ 給水後は必ずスチーム吹出口を閉めてください。開けたままスチーム運転をすると熱湯が飛び散り、やけどの原因になります。

水タンクに水が入っていない状態で、絶対にスチーム運転しない。

ヒーター＋スチーム運転するときは



- 運転切換スイッチをヒーター＋スチーム運転側の「弱」、「中」、「強」いずれかに合わせるとヒーターが点灯し、スチーム運転を開始します。

運転切換スイッチ	運転状態
切	すべて消灯（電源切）
ヒーター弱＋スチーム	中段 点灯＋スチーム（365W）
ヒーター中＋スチーム	上段・下段 点灯＋スチーム（695W）
ヒーター強＋スチーム	上段・中段・下段 点灯＋スチーム（1025W）

スチーム運転についてのお知らせ

- この加湿機能は、ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。また運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 室温が高かったり、湿度が低いなどの使用環境によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるなどで、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。
- この加湿機能は、補助的なもので部屋全体を加湿するためのものではありません。

使いかた

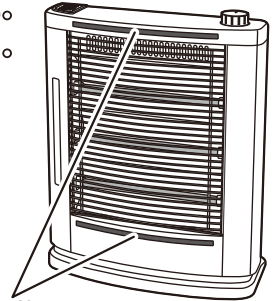
運転する（障害物センサーについて）

■ カーテン、布団、洗濯物などの障害物がセンサーに近づいたり掛かると、自動的に電源が切れる（通電遮断）障害物センサーがついています。

障害物センサーは赤外線（光）の反射で、障害物を感知するものです。

- 運転中に障害物を感知すると、自動的に電源が切れます。
 - ※電源が切れたときは、必ず運転切換スイッチを「切」にしてください。
 - 再度運転をするときは、障害物を取り除いてから運転してください。

障害物センサーはカーテンが本体に掛かるなど、もしものときの危険を感知するためのものです。
障害物の色や材質によっては感知できなかったり、障害物センサーに掛からない小さな物は感知できないなど、すべての物を感知できるわけではありませんので、洗濯物の乾燥目的に使用したり、就寝中に使用したり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。
火災の原因になります。



障害物センサー

注意 下記をよく読んで障害物センサーの性質を理解して使用してください。

設置場所について

- ※直射日光などの強い光が障害物センサーにあたると、強い光に反応して誤感知し運転できない（ヒーターが点灯しない）ことがあります。
そのようなときは直射日光などの強い光が、あたらない場所に設置してください。

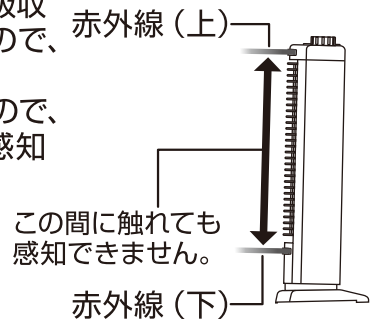
感知できない障害物について

- ※透明や黒い物、レースや網目状の物など赤外線が透過や吸収される色、物、材質などは感知できないことがありますので、十分注意して使用してください。
- ※障害物センサーは前方の障害物に対して検出していますので、ガードのみ（右図の赤外線上下間）に障害物が触れても感知できません。

障害物センサーについて

- ※障害物センサーを傷つけないでください。
正常に感知できなくなる原因になります。

イメージ図



お願い

- ※定期的に障害物センサーに物を近づけて電源が切れることを確認点検してください。（障害物センサーの感知確認）

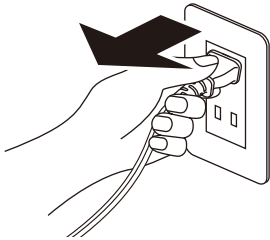
お知らせ

- 運転中に障害物センサーのみを停止することはできません。
- 家電製品のリモコンを本製品に向かって使用すると、ごくまれに障害物センサーが誤感知して電源が切れることがあります。
- テレビやオーディオ機器の近くに設置すると、雑音が入ることがあります。
 - ※テレビやオーディオ機器から本製品を離して、設置してください。

使いかた

使用後は

- 運転切換スイッチを「切」にします。
- 電源プラグを抜き11～12ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。
※使用後しばらくは本体が高温になっていますので、十分冷めてからお手入れをおこなってください。
※スチーム運転をおこなったときは水アカ固着防止のため、本体が十分冷めてから排水して水タンクのお手入れをおこなってください。



電源プラグを抜き、十分冷めてからお手入れをおこなう。

水が凍結するおそれがあるときは

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておきます。
※万一凍結したときは熱湯を入れたりしないで、常温で自然に溶かしてください。

安全装置について

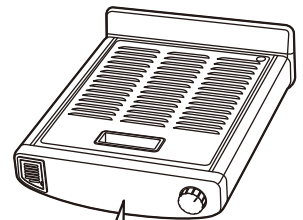
- 運転中に本体が大きく傾いたり転倒したときの安全装置として、転倒OFFスイッチが内蔵されています。
 - 転倒OFFスイッチが働くと電源が切れます。
※転倒したときは必ず運転切換スイッチを「切」にしてください。
 - 再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転します。

お願い

※定期的に本体を傾けて電源が切れることを確認点検してください。(転倒OFFスイッチの動作確認)

お知らせ

- 本体内部からコトコトと音がすることがありますが、転倒OFFスイッチの動作音で故障や異常ではありません。



通電が遮断され電源が切れます。

お手入れと保管

反射板が汚れたり通気穴がほこりなどで目詰まりすると、暖房性能低下や火災の原因になります。

※定期的にガードを取りはずし、お手入れをしてください。

※お手入れをするときはけがを防止するため、ゴム手袋を着用してください。

警告



お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
●やけど・ショート・感電の原因になります。

プラグを抜く



お手入れは十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。

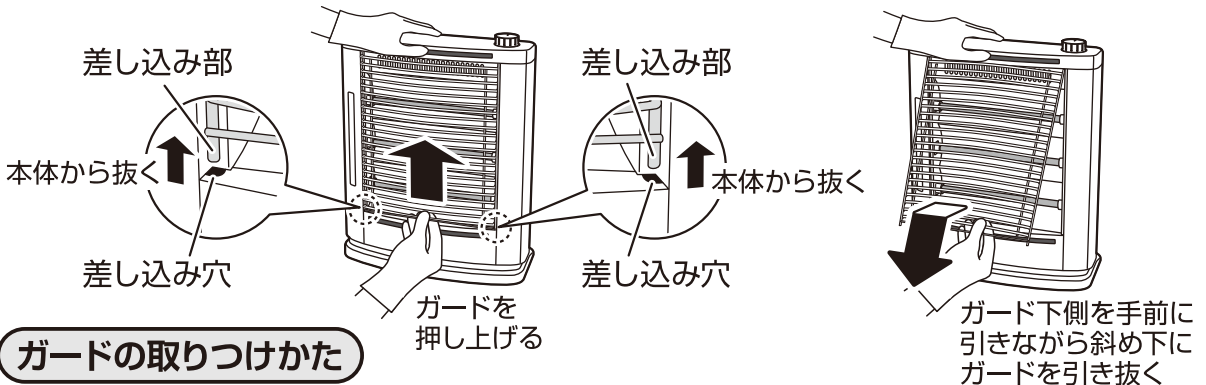
指示に従う

必ずお守りください

※お手入れをするときやガードを取りはずしたり、取りつけるときは電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分冷めてからおこなってください。

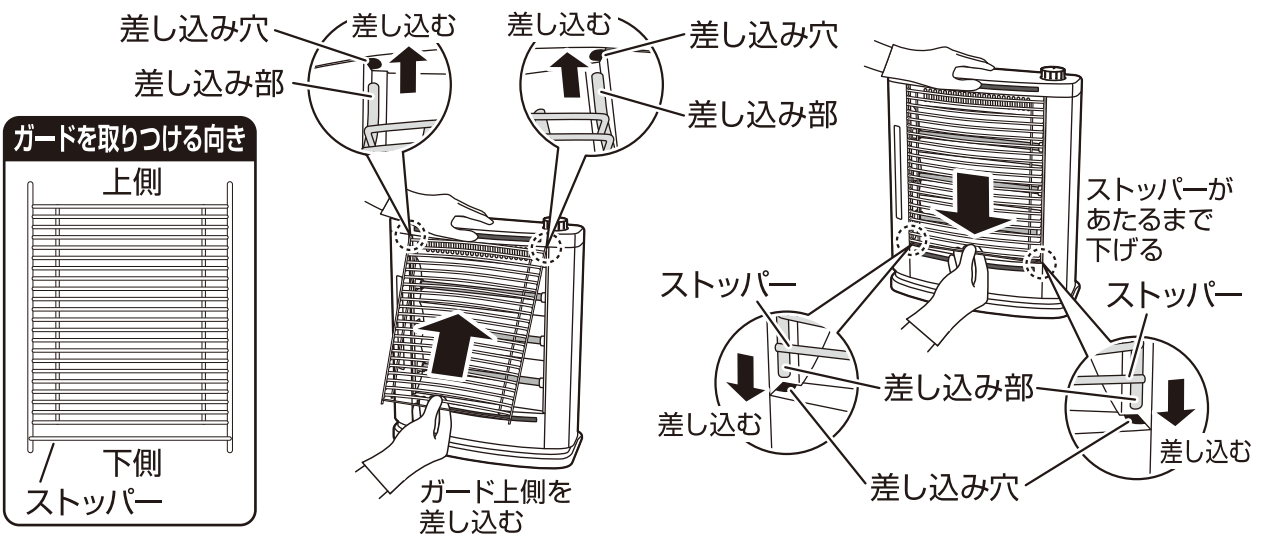
ガードの取りはずしかた

- 本体を押さえてガードを上押し上げ、ガード下側の差し込み部を本体から抜きます。
- ガード下側を手前に引きながら、斜め下にガードを引き抜いて取りはずします。



ガードの取り付けかた

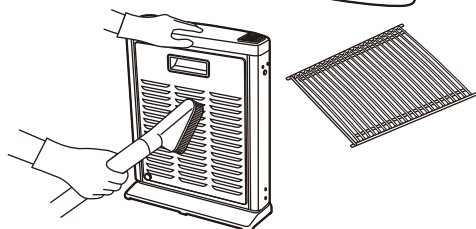
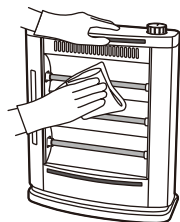
- ガードのストッパーを下側にします。
- 本体を押さえてガード上側の差し込み部を、本体上側の差し込み穴に差し込みます。
- ガード下側の差し込み部を本体下側の差し込み穴に差し込みます。
- ストッパーが本体にあたるまでガードを下げて取り付けます。



お手入れと保管

本体、ガード、反射板、ベース (1カ月に1回程度) ●丸洗いでできません。

- 通気穴のほこりは掃除機のソフトブラシで吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんでほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいほこりや汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

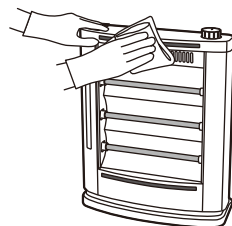


注意

※ガード、反射板、通気穴はほこりの付着具合によってお手入れする回数を増やしてください。ほこりの付着が多くなると、火災の原因になります。

障害物センサー (1カ月に1回程度) ●丸洗いでできません。

- 乾いた柔らかいふきんでほこりや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいほこりや汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってふき取ります。さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

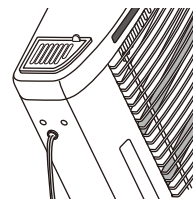


注意

※障害物センサーは柔らかいふきんで、傷をつけないようにお手入れしてください。傷の度合いによっては障害物センサーが、感知できなくなる原因になります。

水タンク (1週間に1回程度) ●丸洗いでできません。

- 水タンクに水が残っているときは、本体を傾けて排水口から排水します。
- 水タンクに水位窓の1/3程度まで水を注いでゆすぎ洗いをし、本体を傾けて排水口から排水します。(2~3回繰り返します)



保管

- 保管の前は必ずお手入れをします。
- お手入れ後はよく乾燥させ包装ケースに納めるか、ポリ袋をかぶせ直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。故障・異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	990W (スチーム使用時:1025W)
製 品 寸 法(約)	幅:365mm×奥行:160mm×高さ:450mm
製 品 質 量(約)	2.5kg
コ ー ド 長(約)	1.6m
スチーム発生装置	加熱式 (消費電力:35W) 水タンク容量:約360mL (満水位置まで)
発 熱 体	石英管ヒーター 3本
安 全 装 置	転倒OFFスイッチ サーモスタット(空だき防止機能) ※水が無くなるとスチーム用ヒーターOFF

●製品の仕様や外観などは改善などのため、予告なく変更することがあります。

■ 電気代について

弱 (330W) 運転時:1時間あたり 約8.9円 (スチーム使用時は 約9.9円)
 中 (660W) 運転時:1時間あたり 約17.8円 (スチーム使用時は 約18.8円)
 強 (990W) 運転時:1時間あたり 約26.7円 (スチーム使用時は 約27.7円)
 (電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています)

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込んでください。
	●直射日光などの強い光があたる場所に設置していませんか?	●直射日光などの強い光が障害物センサーにあたると、強い光に反応して誤感知し運転できない(ヒーターが点灯しない)ことがあります。 そのようなときは直射日光などの強い光が、あたらない場所に設置してください。
スチームが出ない	●水タンクに水が入っていない状態ではありませんか?	●電源を切り電源プラグを抜いて、本体が十分冷めてから水タンクに給水してください。
	●運転切換スイッチをヒーター運転側に合わせていませんか?	●運転切換スイッチをヒーター+スチーム運転側に合わせてください。
運転中に電源が切れる	●カーテン、布団、洗濯物などの障害物がセンサーに近づいていませんか?	●運転中に障害物を感知すると、自動的に電源が切れます。 再度運転をするときは、障害物を取り除いてから運転してください。
	●転倒OFFスイッチが働いていませんか?	●運転中に本体が大きく傾いたり転倒すると、転倒OFFスイッチが働いて電源が切れます。 再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転してください。

故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処置 または お知らせ
障害物センサーが反応しない	● 障害物センサーはすべての物を感知できるわけではありません。	● 透明や黒い物、レースや網目状の物など赤外線が透過や吸収される色、物、材質などは感知できないことがあります。 ● 障害物センサーは前方の障害物に対して検出していますので、ガードのみに障害物が触れても感知できません。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
 - 電源プラグが変形している。
 - 電源コードを動かすと電源が入ったり、入らなかつたりする。
 - 異常な音がする。
 - こげ臭いなどの異臭がする。
 - 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
 - その他の破損・故障・異常がある。
- 電源プラグやコンセントに、ほこりやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため
電源を切り、電源プラグ
をコンセントから抜いて、
必ず販売店に点検・修理
を依頼してください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- **本製品は、保証書が付いています。**
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- **保証期間は、お買い上げ日より1年です。**
保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。
- **保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に、依頼してください。**
- **本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。
- **サービスパーツについて**
ガードなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  **0570-077-078**

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

● FAXでの  お問い合わせは **0120-680-287**

● Eメールでの  お問い合わせは **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-220705